

諏訪の景気動向

平成19年8月

(平成19年7月末 D・I調査)

平成19年8月20日
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 19 年 7 月末）

「平成 19 年 7 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 203 社のご協力を得て行った 7 月末の「景気動向調査（D I 調査）」では、回答全社の業況判断 D I は 2.5 で前回調査時（平成 19 年 4 月末）より 12.4 ポイント改善し 3 期振りにプラスに転じた。

製造業の業況判断 D I は、「好転」15.8%・「悪化」20.4%で△4.6 と前回調査時の△12.8 から 8.2 ポイントの改善、受注動向 D I も△3.9 と前回調査時から 9.0 ポイント改善しているものの水面下からは脱していない。

規模別の業況判断 D I は、従業員数「100 人以上企業」は 3.3、「30 人～99 人企業」は 4.0 とプラスに転じたものの、「1 人～29 人企業」では△13.9 と 26.4%の企業が悪化したとしており、企業規模により業況判断は区々となっている。

業種別の業況判断 D I は、横這とする企業が多いものの金属製品 0.0、一般機械△10.3、電気機械△16.7、輸送用機械 5.9、精密機械△11.1 となった。

受注予想 D I は、主要 5 業種全体が改善傾向の見方を示し、なかでも輸送用機械では 35.3%の企業で受注増加を予想している。企業規模別の受注予想 D I は全ての規模の企業でプラスとなり、当金庫の D I 調査において先行指標の傾向がある「100 人以上企業」では 26.7%の企業が増加に転じている。

ヒアリング調査では、デジタル一眼レフカメラ関連企業や自動車関連企業で引き続き堅調な見通しがきかれたが、携帯電話、情報機器などの電気機械関連企業は、先行きの受注は弱含んでいるとの見通しがきかれた。

地域製造業全体の動向は、業況判断 D I は△4.6 と前回調査時△12.8 から 8.2 ポイント改善しているものの「横這」とする企業が 63.8%あり、また前年同期比の同 D I は△11.2 であることから、引続き幾分弱含みの横這い状況となっている。

商業は、7 月の天候が梅雨前線や台風の影響で曇りや雨の日が多かったことから、気温は平年より低く水着などの夏物商品の動きは低調であった。一方、野菜の高値や家電製品などのボーナス商戦が好調なことから、客単価 D I は 42.6 ポイント回復し 25.0、これにより業況判断 D I は 25.4 ポイント回復するなど、業況が改善した企業が多くなっている。

観光は、本格的な観光シーズンを迎え、業況判断 D I 36.4、宿泊客数 D I 40.9 と高水準になっている。ただし、客単価 D I は「前年同期比」△9.1、「3 ヶ月後の予想」△4.5 となっており、客単価の引き上げが課題となっている。

建設業の業況判断D Iは $\Delta 7.7$ と水面下であるものの、前回調査時より 11.1 ポイント改善した。また、業況予想D Iでは 30.8%の企業で好転を見込んでいるため、前回調査時より 10.6 ポイント改善し 23.1 となった。

雇用状況は、6月の諏訪地方（諏訪職安・岡谷職安合算）の有効求人倍率が 1.32 倍と平成 15 年 10 月から 45 ヶ月連続して 1 倍台を維持しており安定している。

新規求人は、諏訪・岡谷職安合わせて 1,567 人と前年同月比 $\Delta 1.9\%$ 減少している。また、新規求職者数は 654 人で前年同月比 $\Delta 18.3\%$ 減少している。

回答全社の収益性D Iは、前回調査比 5.8 ポイント改善し $\Delta 17.7$ となった。非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の収益性D Iは前回調査比 15.2 ポイント改善し 3.9 とプラスに転じたが、製造業の収益性D Iは 2.9 ポイントの小幅な改善はしたものの $\Delta 25.0$ と厳しい状況が続いている。

業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社（203社）の「3ヶ月前比」の業況は、好転とする企業が21.2%、悪化とする企業が18.7%で業況判断DIは2.5と前回調査時の△9.9から12.4ポイント改善し3期振りにプラスに転じた。

製造業の業況判断DIは△4.6で水面下ながらも、前回調査時の△12.8から8.2ポイント持ち直した。主要5業種の業況判断DIは、精密機械が11.1ポイント悪化した以外は4業種とも改善傾向にあるが依然として低水準となっている。

非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）全体での業況判断DIは23.5で、前回調査時から25.4ポイント改善している。なかでも季節的要因から、観光・サービス業が同DI36.4、商業が同DI31.3となっており、豪雨災害の影響があった前年に比べ、前年同期比業況判断DIも大きく改善している。

産業別業況表

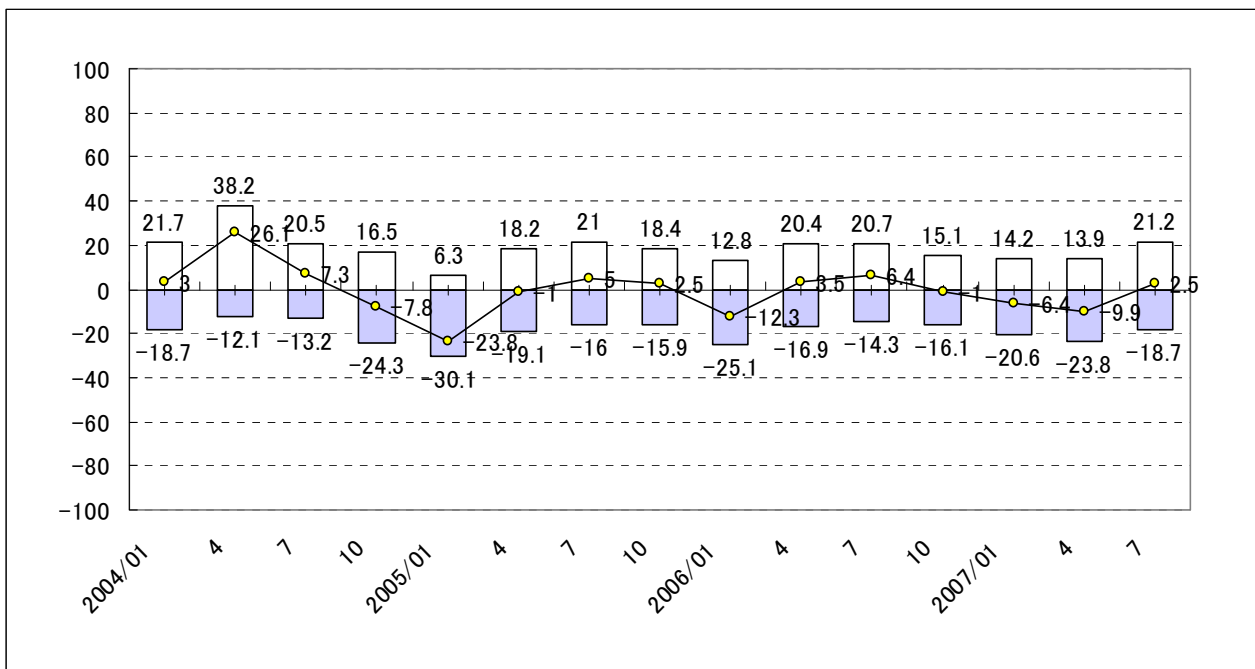
（企業数・%） 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	203	21.2	60.1	18.7	2.5	203	25.6	45.8	28.6	-3	203	18.7	68.5	12.8	5.9
製造業	152	15.8	63.8	20.4	-4.6	152	22.4	44.1	33.6	-11.2	152	15.8	71.1	13.2	2.6
非製造業	51	37.3	49	13.7	23.5	51	35.3	51	13.7	21.6	51	27.5	60.8	11.8	15.7
商業(大型店)	16	37.5	56.3	6.3	31.3	16	50	31.3	18.8	31.3	16	25	68.8	6.3	18.8
建設業	13	7.7	76.9	15.4	-7.7	13	7.7	92.3	0	7.7	13	30.8	61.5	7.7	23.1
観光・サービス	22	54.5	27.3	18.2	36.4	22	40.9	40.9	18.2	22.7	22	27.3	54.5	18.2	9.1

自社業況判断DIの推移

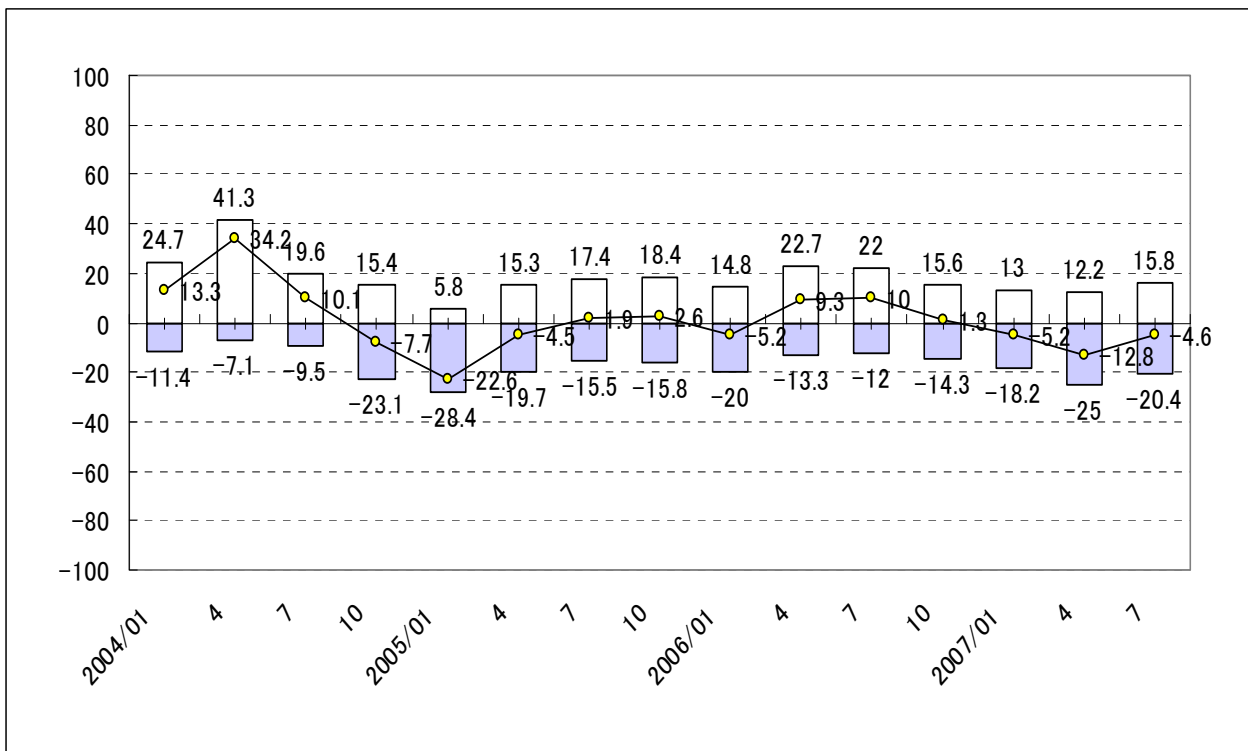
●回答全社：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-1



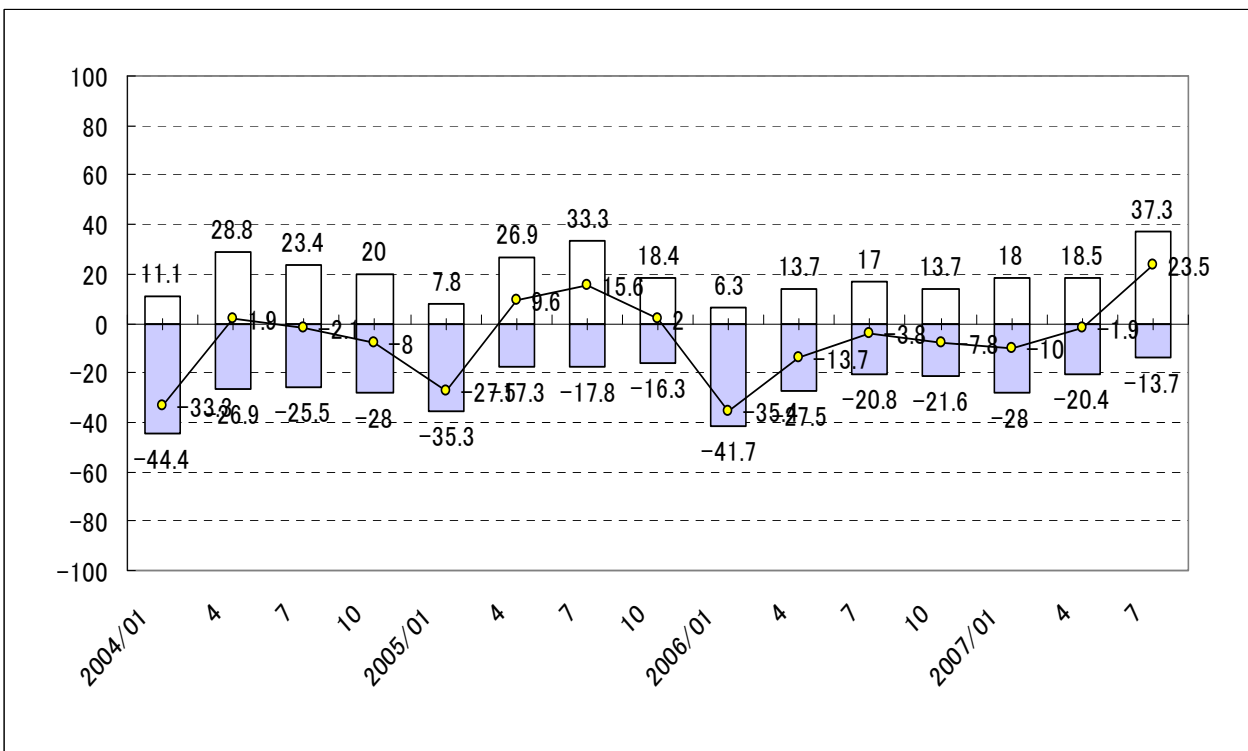
●製造業：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-2



●非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-3



産業別景気動向

1. 製造業

製造業の業況判断D Iは△4.6と前回調査時の△12.8から8.2ポイント改善している。

主要5業種の業況判断D Iでは、精密機械のみが11.1ポイント悪化した以外は4業種で改善しているものの、前年同期比業況判断D Iは電気機械で53.3%の企業が悪化したとして△36.7となるなど、全業種がマイナスとなっている。

収益性D Iは△25.0と前回調査時の△27.9から2.9ポイント改善したが、原材料・燃料等の高止まりや更なるコストダウン要請などから依然として低水準となっている。

規模別の業況判断D Iは、3ヶ月前と比べ「30人～99人企業」4.0、「100人以上企業」3.3とプラスとなったものの、「1人～29人企業」は△13.9と規模による差がみられた。

業況予想D Iは「横這」とする企業が多いものの、全社で2.6と前回調査時より8.1ポイント改善しプラスに転じた。規模別では、「1人～29人企業」△1.4、「30人～99人企業」2.0、「100人以上企業」13.3と企業規模が大きくなるほど先行きに明るい見方をしている。

地域製造業全体の業況判断D Iは△4.6と前回調査時△12.8から8.2ポイント改善しているものの、「横這」とする企業が63.8%あり、また前年同期比の同D Iは△11.2であることから、引続き幾分弱含みの横這い状況となっている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	152	15.8	63.8	20.4	-4.6	152	22.4	44.1	33.6	-11.2	152	15.8	71.1	13.2	2.6	
規模	1～29人	72	12.5	61.1	26.4	-13.9	72	22.2	45.8	31.9	-9.7	72	16.7	65.3	18.1	-1.4
	30～99人	50	18	68	14	4	50	28	44	28	0	50	12	78	10	2
	100～人	30	20	63.3	16.7	3.3	30	13.3	40	46.7	-33.3	30	20	73.3	6.7	13.3
中分類	金属製品製造業	18	11.1	77.8	11.1	0	18	16.7	50	33.3	-16.7	18	11.1	83.3	5.6	5.6
	一般機械器具製造業	39	17.9	53.8	28.2	-10.3	39	23.1	43.6	33.3	-10.3	39	7.7	79.5	12.8	-5.1
	電気機械器具製造業	30	13.3	56.7	30	-16.7	30	16.7	30	53.3	-36.7	30	20	73.3	6.7	13.3
	輸送用機械器具製造業	17	11.8	82.4	5.9	5.9	17	17.6	52.9	29.4	-11.8	17	17.6	70.6	11.8	5.9
	精密機械器具製造業	18	16.7	55.6	27.8	-11.1	18	27.8	38.9	33.3	-5.6	18	22.2	55.6	22.2	0

①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断D Iは0.0と前回調査時の△14.3から14.3ポイント回復しているが、77.8%の企業が3ヶ月前と横這としており、弱含みの状況が続いている。前年同期比業況判断D Iは△16.7であるが、業況予想D I(3ヶ月後、以下同じ)は5.6と前回調査の△19.0より好転しており幾分明るい兆し

が窺える。

●一般機械（工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など）

業況判断D Iは△10.3と前回調査比6.4ポイント、前年同期比業況判断D I△10.3と前回調査比20.7ポイントそれぞれ回復しているものの、マイナス基調から脱していない。

●電気機械（家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど）

業況判断D Iは△16.7と前回調査時より1.2ポイントのマイナス幅縮小となったが、前年同期比業況判断D Iは△36.7と悪化した企業が53.3%を占め、前回調査時より29.6ポイントの大幅な悪化となった。ただし、業況予想D Iは13.3と主要5業種の中では最も高くなっている。

●輸送用機械（自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など）

前年同期比業況判断D Iは△11.8と29.4%の企業が悪化したとして、前回調査時の6.7からマイナスに転じた。また、業況予想D Iは横這とする企業が70.6%と最も多いものの、前回調査時の26.7から20.8ポイント悪化し5.9となるなど慎重な見方が多い。

●精密機械（時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など）

業況判断D Iは27.8%の企業が悪化したとして△11.1と前回調査時の0.0からマイナスに転じた。前年同期比業況判断D Iは、好転企業・横這企業・悪化企業がそれぞれ約30%となっており、企業により区々となっている。

②他の製造業

繊維工業、プラスチック製品製造業で業況が好転したとする企業が多くなっている。

③規模別業況

規模別の業況判断D Iは、「1人～29人企業」は前回調査比3.5ポイント改善し△13.9、「30人～99人企業」は前回調査比14.4ポイント改善し4.0、「100人以上企業」は前回調査比9.8ポイント改善し3.3となっている。

前年同期比業況判断D Iは、「1人～29人企業」は前回調査比14.9ポイント改善し△9.7、「30人～99人企業」は前回調査比4.2ポイント悪化し0.0、「100人以上企業」は前回調査比17.2ポイント悪化し△33.3となっており、前年同期比では企業規模が大きくなるほど悪化したとする企業が多く、「100人以上企業」では46.7%の企業で悪化したとしている。

業況予想D Iは、横這とする企業が最も多いものの全ての規模で改善しており、幾分明るい兆しが窺える。

④受注状況D I（業種別、規模別）

製造業全社(152社)の受注状況D Iは、「3ヶ月前比」9.0ポイント改善し△3.9、「前年同期比」10.5ポイント改善し△9.9、「3ヶ月の予想」14.9ポイント改善し6.6と改善傾向にある。

規模別の受注状況D Iは全ての規模で改善しているが、前年同期比受注状況D Iで「100人以上企業」のうち53.3%の企業が減少したとして前回調査比10.6ポイント悪化し△30.0となった。

主要 5 業種の受注状況 D I は、金属製品・一般機械・精密機械で増加し、電気機械・輸送用機械で減少した。なお、金属製品は、前回調査比 40.5 ポイントの大幅改善となっている。

前年同期比受注状況 D I では、電気機械・輸送用機械が悪化しているが、そのうち電気機械では 53.3%の企業が減少したとしている。

受注予想 D I は、全業種で改善しプラスに転じており、なかでも輸送用機械では 35.3%の企業で増加するとしており 23.5 となっている。

業種別・規模別受注状況表

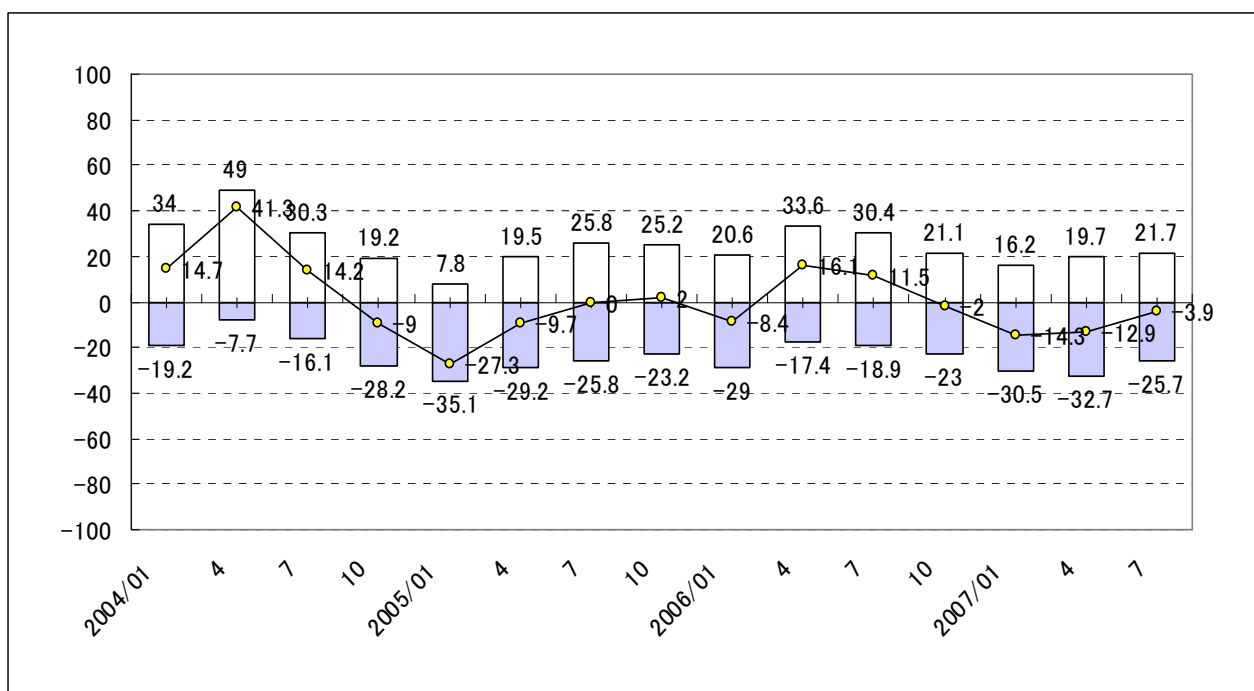
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	152	21.7	52.6	25.7	-3.9	152	25.7	38.8	35.5	-9.9	152	22.4	61.8	15.8	6.6	
規模	1~29人	72	19.4	50	30.6	-11.1	72	20.8	47.2	31.9	-11.1	72	23.6	56.9	19.4	4.2
	30~99人	50	24	56	20	4	50	34	36	30	4	50	18	68	14	4
	100~人	30	23.3	53.3	23.3	0	30	23.3	23.3	53.3	-30	30	26.7	63.3	10	16.7
分類	金属製品製造業	18	27.8	61.1	11.1	16.7	18	33.3	33.3	33.3	0	18	16.7	72.2	11.1	5.6
	一般機械器具製造業	39	23.1	41	35.9	-12.8	39	23.1	41	35.9	-12.8	39	20.5	59	20.5	0
	電気機械器具製造業	30	16.7	46.7	36.7	-20	30	20	26.7	53.3	-33.3	30	23.3	70	6.7	16.7
	輸送用機械器具製造業	17	17.6	58.8	23.5	-5.9	17	23.5	41.2	35.3	-11.8	17	35.3	52.9	11.8	23.5
	精密機械器具製造業	18	16.7	61.1	22.2	-5.6	18	27.8	44.4	27.8	0	18	22.2	55.6	22.2	0

製造業の受注状況 D I の推移

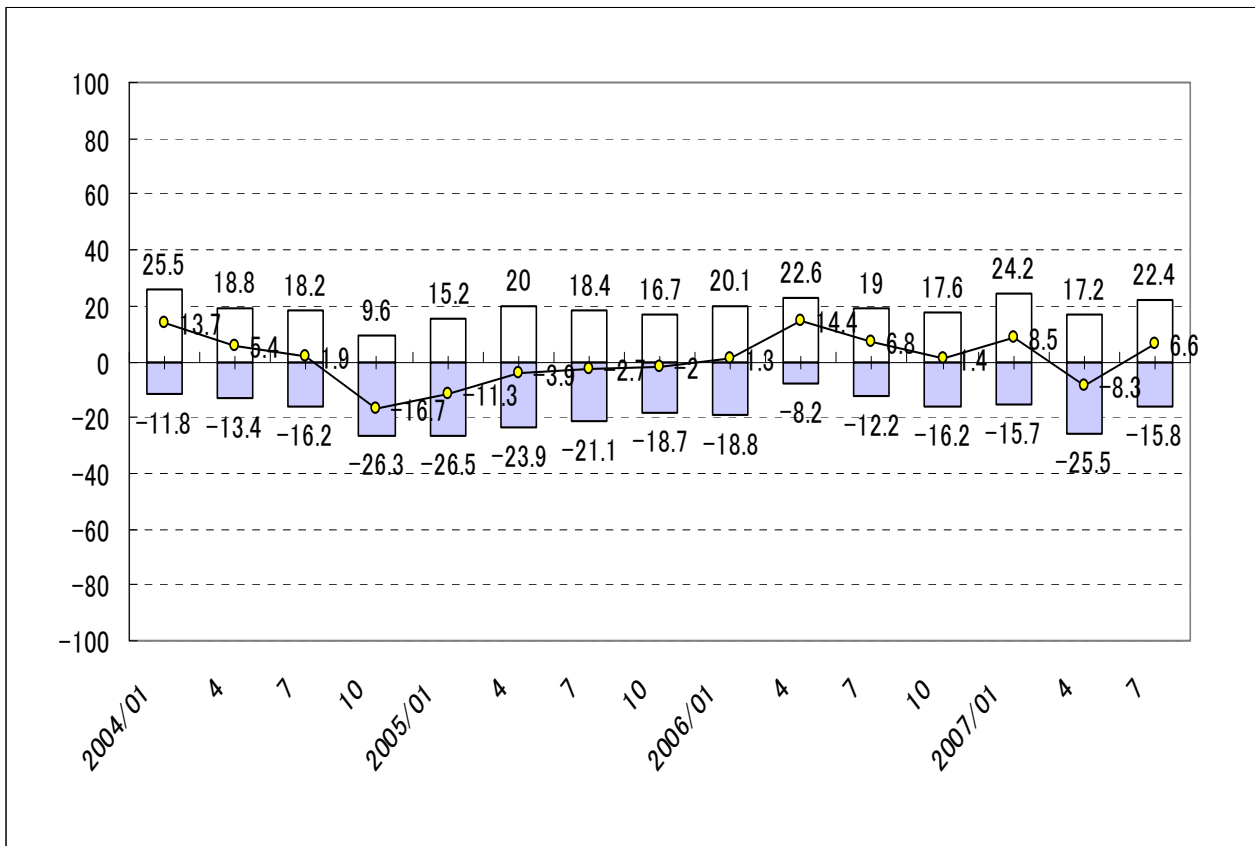
● 全社：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-4



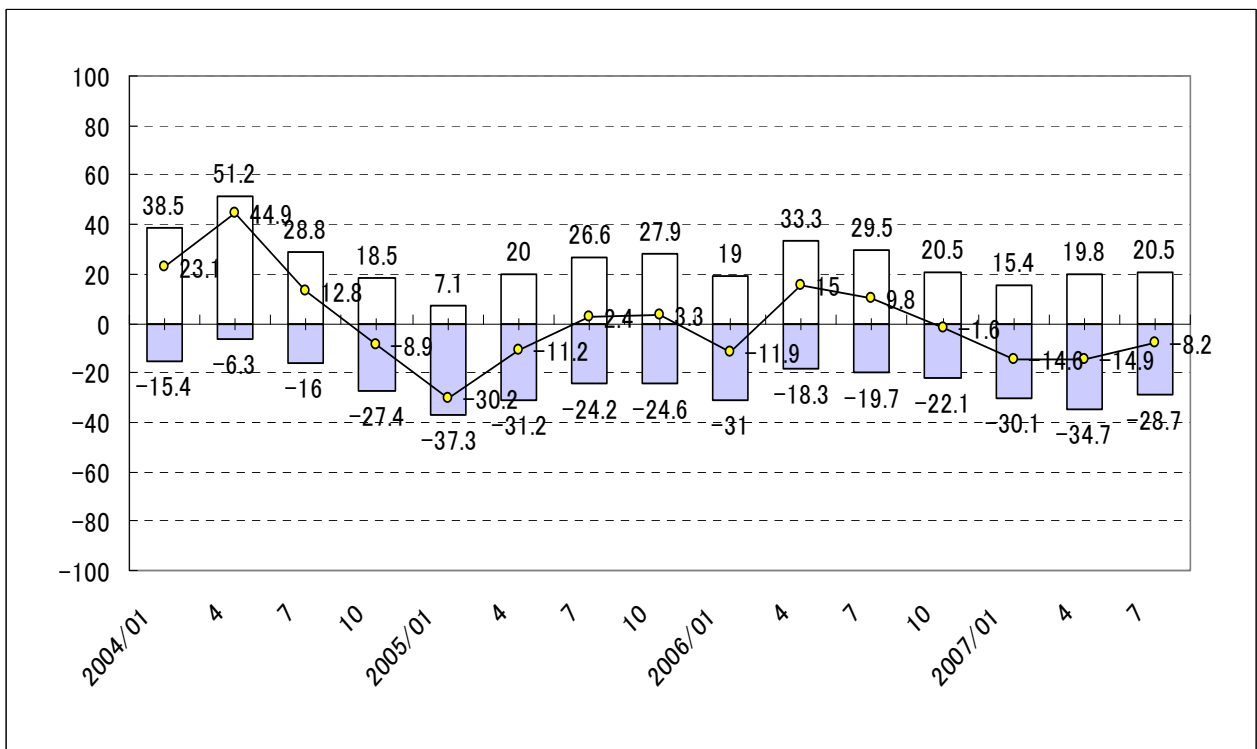
● 全社：「3ヶ月後」の予想

グラフー5



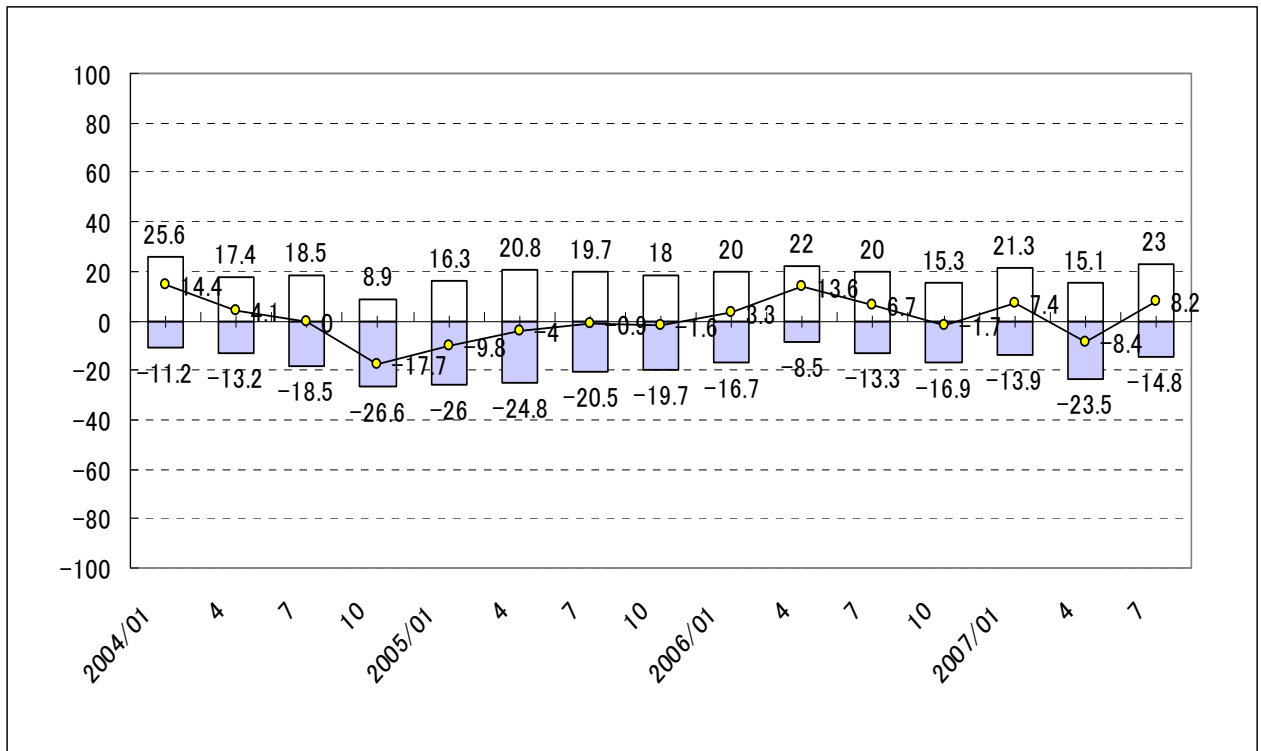
● 主要5業種：「3ヶ月前」と比べて

グラフー6



●主要5業種：「3ヶ月後」の受注予想D Iの推移

グラフー7



2. 商業・観光サービス業

①商業

諏訪地方の7月の天候は梅雨前線や台風の影響で曇りや雨の日が多かったことから、気温は平年より低く水着などの夏物商品の動きは低調であった。一方、生鮮食料品の高値や電化製品などのボーナス商戦が好調なことから客単価D Iは42.6ポイント回復し25.0となり、業況判断D Iも25.4ポイント回復するなど、業況が改善した企業が多くなっている。

- 食料品 野菜産地の日照不足から野菜は高値圏で推移したが、安定した動きとなっている。残留農薬問題から、食品全般で国産品への需要が高まっている。
- 衣料品 低温の影響から水着や速乾機能の肌着などの夏物衣料品の動きは低調であったが、各地で夏祭りが始まったことから、ゆかたの売れ行きは好調であった。
- ホームセンター 夏物商品の動きは幾分鈍かったが、生活関連商品の売れ行きは堅調であった。
- 大型家電店 天候の影響によりエアコンの売れ行きは低調であるが、ボーナス商戦での薄型TVやデジカメの売れ行きは好調である。

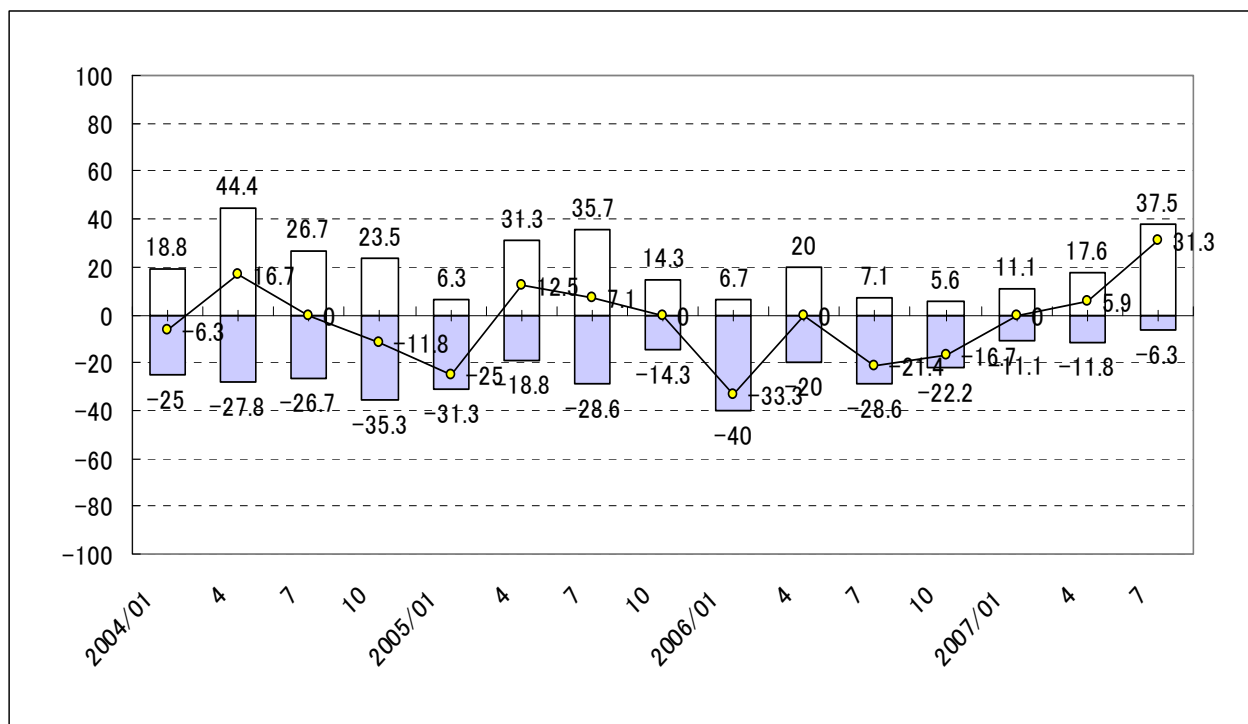
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI
業況	16	37.5	56.3	6.3	31.3	16	50	31.3	18.8	31.3	16	25	68.8	6.3	18.8
客単価	16	37.5	50	12.5	25	16	25	56.3	18.8	6.3	16	25	75	0	25
来店客数	15	33.3	60	6.7	26.7	15	40	33.3	26.7	13.3	15	20	73.3	6.7	13.3

●商業全社の業況判断D Iの推移：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-8



②観光・サービス業

本格的な観光シーズンを迎え、業況判断DI 36.4、宿泊客数DI 40.9 と高水準となっている。ただし、客単価DIは「3ヶ月前比」が9.1であるものの、「前年同期比」・「3ヶ月後の予想」はいずれもマイナスであるなど、付加価値向上による客単価向上が課題となっている。

上諏訪温泉の7月の宿泊客数は、豪雨災害があった昨年と比べ10%～30%程度増加したところが多く、8月の予約状況も順調なところが多い。また、7月28日から9月2日まで、サマーナイトファイヤーフェスティバルが開催され、連日花火の打ち上げが行われており好評を博している。

白樺湖・蓼科・霧ヶ峰方面の7月の宿泊客数は、ホテル・旅館により区々であるが、梅雨前線や台風の影響から個人客の入り込みが鈍く、前年比では増加しているものの平年並みの模様である。

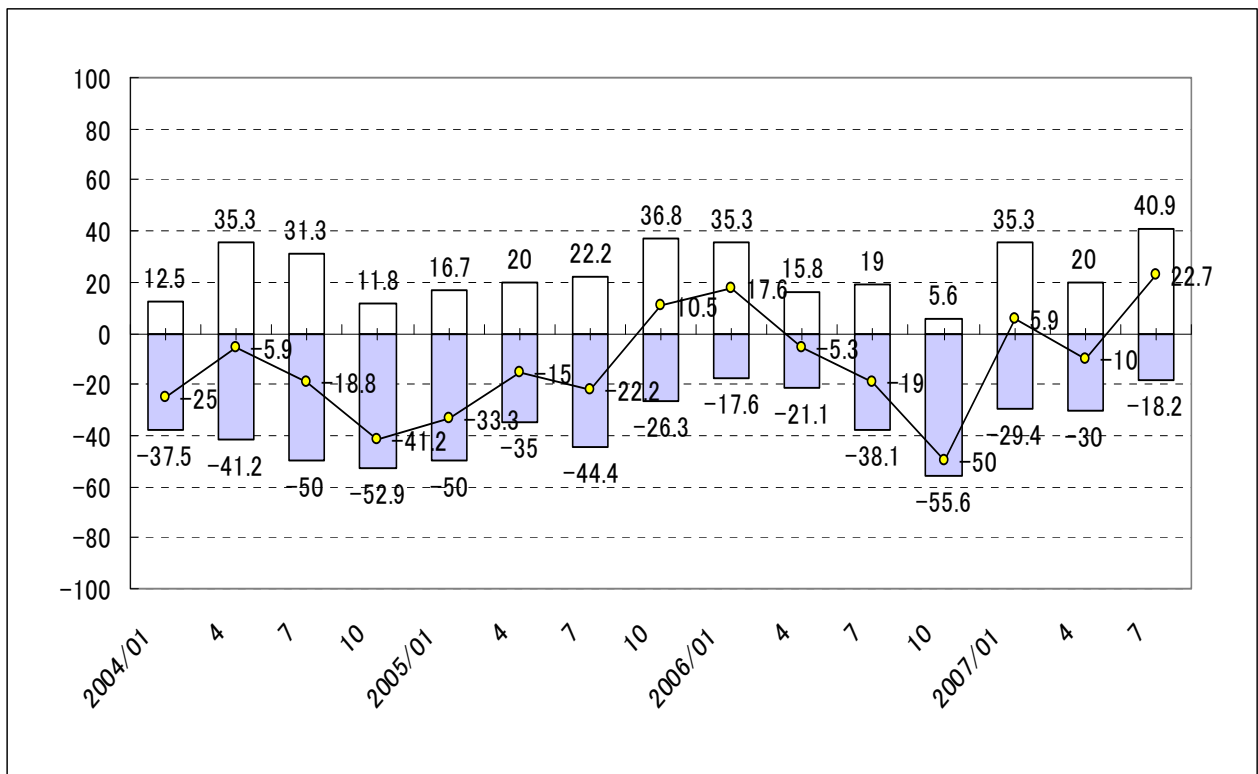
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI
業況	22	54.5	27.3	18.2	36.4	22	40.9	40.9	18.2	22.7	22	27.3	54.5	18.2	9.1
客単価	22	27.3	54.5	18.2	9.1	22	13.6	63.6	22.7	-9.1	22	13.6	68.2	18.2	-4.5
宿泊客数	22	59.1	22.7	18.2	40.9	22	45.5	22.7	31.8	13.6	22	40.9	31.8	27.3	13.6

●観光・サービス業全社の業況判断DIの推移：「前年同期」と比べて

グラフ-9



3. 建設業

業況判断D Iは、「横這」とする企業が最も多いものの前回調査比 11.1 ポイント改善し△7.7 となった。業況予想D Iは 30.8%の企業が「好転」するとしており前回調査比 10.6 ポイント改善し 23.1 となった。

前年同期比受注状況D Iは、「悪化」とする企業が前回調査時の 37.5%から 15.4%へ減少したことに伴い、同D Iは前回調査時の△12.5 より 27.9 ポイント改善し 15.4 とプラスに転じている。

土木工事は、平成 18 年 7 月豪雨災害の復旧工事の受注により繁忙となっているところがみられる。建設工事は、大型案件が少なく個人住宅等の小口工事で価格競争となっており、受注が増加するも収益性が改善しないとの声が多い。

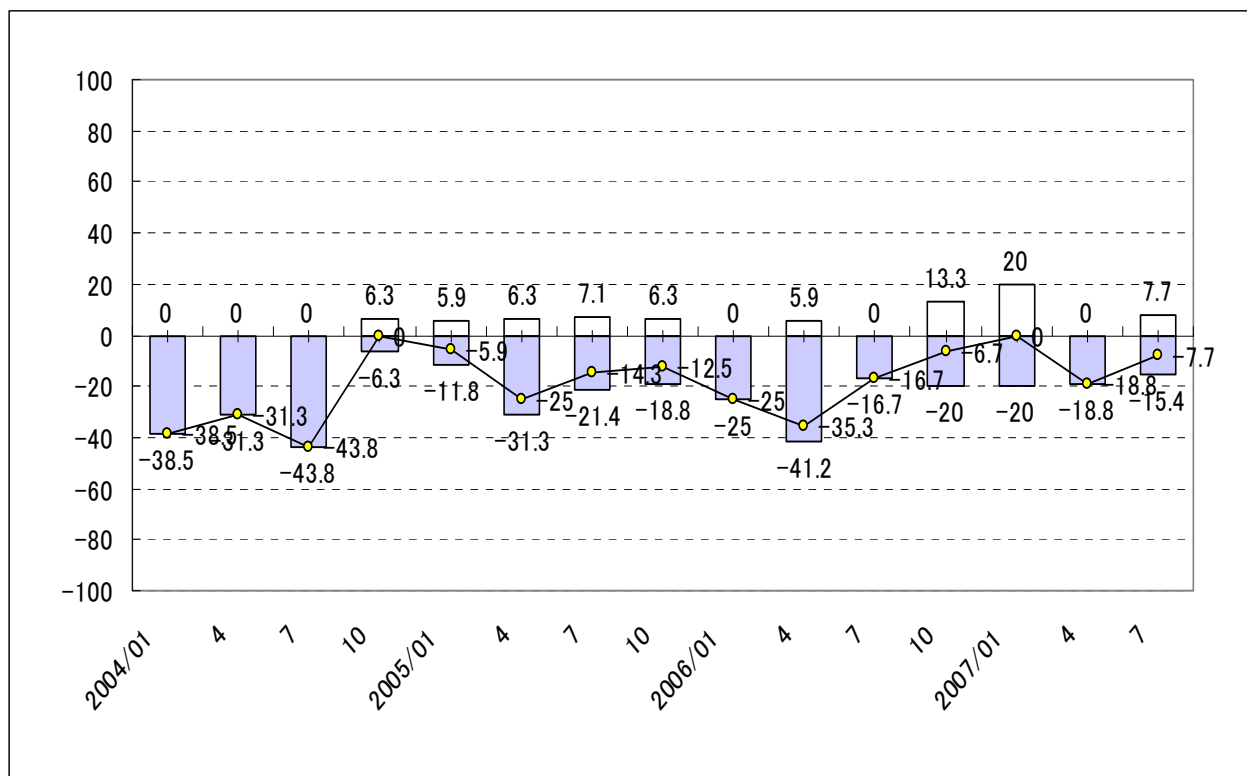
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI
業況	13	7.7	76.9	15.4	-7.7	13	7.7	92.3	0	7.7	13	30.8	61.5	7.7	23.1
受注状況	13	7.7	53.8	38.5	-30.8	13	30.8	53.8	15.4	15.4	13	30.8	46.2	23.1	7.7
外注発注量	13	7.7	53.8	38.5	-30.8	13	15.4	61.5	23.1	-7.7	13	23.1	61.5	15.4	7.7

●建設業全社の業況判断D Iの推移：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-10



4. 収益性状況

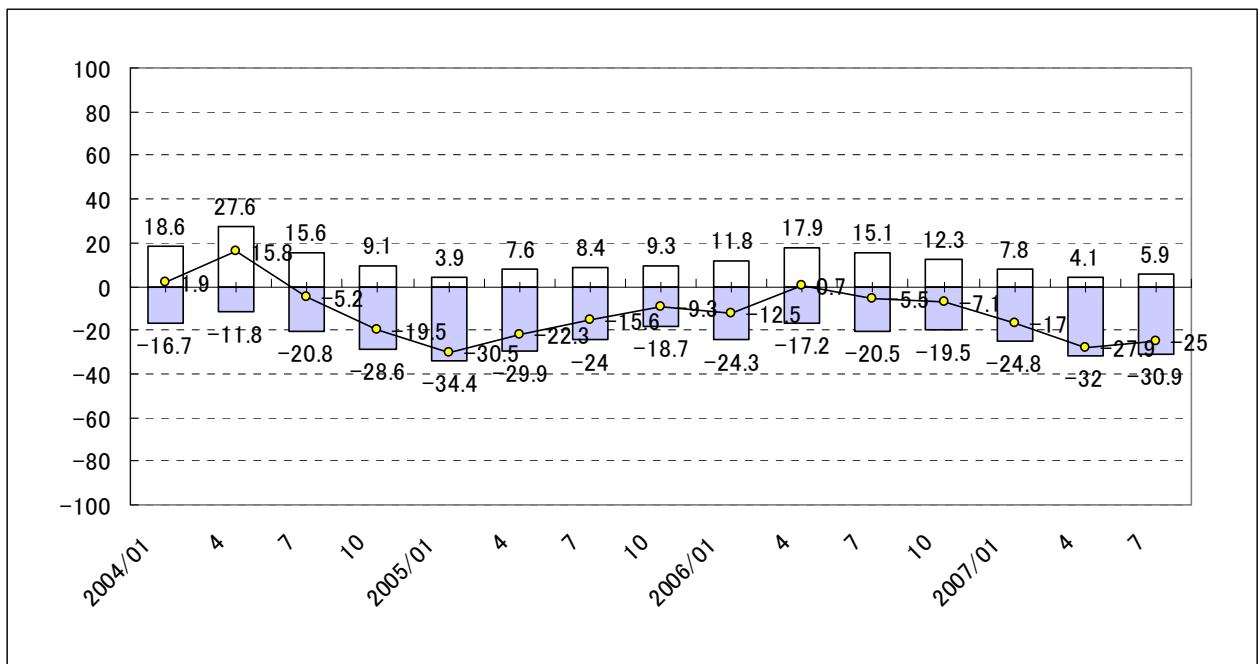
回答全社の収益性D Iは、前回調査比 5.8 ポイント改善し△17.7となった。

製造業の収益性D Iは 25.0 と前回調査比 2.9 ポイントの小幅な改善であるが、非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の同D Iは前回調査時の△11.3 から 15.2 ポイント改善し 3.9 となった。なかでも、ボーナス商戦が始まった商業が 19.1 ポイントの大幅改善となった。

また、非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の前年同期比収益性D Iは、豪雨災害のあった昨年に比べ 26.8 ポイント改善し 9.8 となっている。

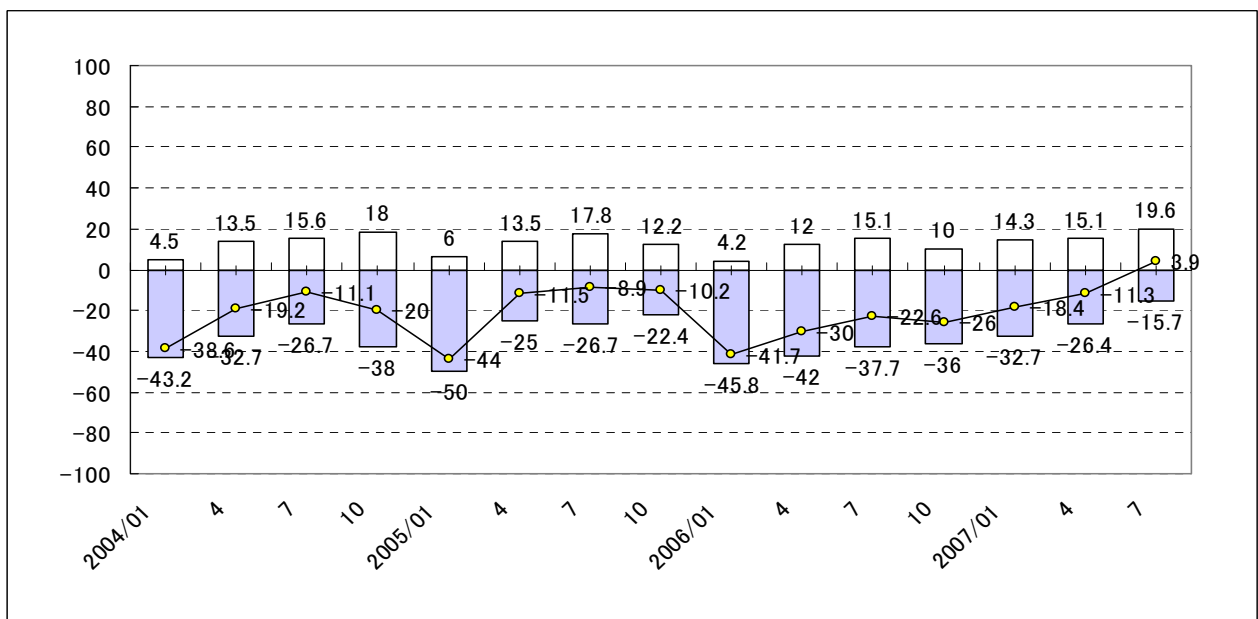
●製造業の収益性D I：3ヶ月前と比べて

グラフー11



●非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の収益性D I：3ヶ月前と比べて

グラフー12



5. 経営上の課題

経営上の課題として、①製造業は売上減少・単価引下げ・競争激化をあげる企業が多く、②商業は人件費・労働力確保・売上減少・競争激化、③建設業は競争激化・単価引下げ、④観光・サービス業は売上減少・資金繰り・人件費をあげている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	91	69	7	6	9
単価引下げ	60	46	1	7	6
競争激化	65	43	7	8	7
資金繰り	40	25	2	4	9
人件費	35	18	9	0	8
労働力確保	36	24	7	1	4

6. 諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比
有効求人倍率 【6月】	諏訪公共職業安定所管内	1.20 倍	△0.03 ポイント
	岡谷公共職業安定所管内	1.53 倍	+0.19 ポイント
手形交換高【7月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	14,311 枚	+1,931 枚
	金額	19,706 百万円	+4,659 百万円
うち不渡り 発生状況	枚数	41 枚	+7 枚
	金額	15,086 千円	△2,431 千円
車庫証明取扱件数【7月】 (諏訪・岡谷自家用自動車協会管内)		1,112 件	4.3 %
新設住宅着工件数 (19.4~19.6月) (諏訪地方事務所管内)		504 件	△33.4 %

*手形交換金額は、6月末が休日だったため前年対比で大きく増加しています。

7. 調査概要

- 調査期間 平成19年7月末
- 調査内容 「平成19年7月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- 調査方法 アンケート調査及びヒアリング調査
- 対象地域 諏訪地域全域
- 業種 製造業、商業（大型店：売り場面積501㎡以上）、建設業、観光・サービス業
- 回答企業数 203企業
- 回答率 67.6%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業他	合計
依頼数	225	30	22	23	300
回答数	152	16	13	22	203